



低線量放射線による癌抑制遺伝子 p53 の活性化に与える影響について

マウスに 0.1 シーベルト、0.25 シーベルト、0.5 シーベルトの 3 種類の X 線を全身照射し、癌抑制遺伝子 p53 の活性化について調べた。p53 には、DNA の修復・癌細胞増殖の抑制・修復不可能な細胞の自死(アポトーシス)などの機能がある。実験の結果、副腎・肝臓・骨髄・腸・心臓など全ての臓器において p53 の活性化が確認された。この実験結果から、低線量放射線には癌防止の作用があると考えられる。

<奈良県立医科大学の大西武雄教授の実験>